

日本原子力学会 核燃料部会  
平成 27 年度第三回運営小委員会議事録

日時 : 平成 27 年 11 月 17 日 (火) 13:30~16:10

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、山中副部会長、平井副部会長、池田委員、岩元委員、  
逢坂委員 (JNFL)、尾形委員、草ヶ谷委員、竹野氏 (高松委員代理)、  
坂井氏 (手島委員代理)、永瀬委員、村瀬委員、巻上 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録等の確認

巻上庶務幹事から、資料 1 により、前回運営小委員会議事録が提示された。ホームページ掲載済であり、説明は省略した。

2. 平成 27 年度予算の支出予想と平成 28 年度予算案について

巻上庶務幹事から、資料 2 により、平成 27 年度予算の支出予想と平成 28 年度予算案が報告された。支出予想と予算案の提出期限は 11/18 であり、ANFC 残金の取扱いを資料 9 に合わせて訂正した上で、学会事務局へ提出することが確認された。

3. 平成 28 年度 核燃料部会業務分担について

巻上庶務幹事から、資料 3 により、平成 28 年度の業務分担案が報告された。平成 27 年度末で交代予定の平井副部会長から、後任として NDC の伊藤氏の内諾を得ている旨が紹介された。一方、平成 28 年度業務担当予定の多くの委員が欠席だったため、庶務幹事から各委員の状況を確認し、結果を次回の運営小委で報告することが確認された。

4. 2016 春の年会 企画セッションについて

池田国内企画幹事から、資料 4 により、2016 春の年会 企画セッションについて、5 部会合同企画セッション「事故評価におけるソースターム解析の課題と今後の対応 (その 2) (仮題)」に参加すること、核燃料部会単独の開催は見送ることの 2 点が提案され、了承された。合同企画セッションの計画にあたっては、各部会の発表が互いに連携したものとなるよう、提案元 (水化学部会) に意見を伝えることとした。

5. H27 年度核燃料部会部会賞（奨励賞）について  
池田国内企画幹事から、資料 5 により、今年度の部会賞への応募状況、選考小委員会メンバー、今後のスケジュールが報告され、今後、部会賞実施要領に基づいて選考を進めていくことが確認された。
6. 平成 28 年度 夏期セミナーの進捗について  
坂井氏（手島委員代理）から、資料 6 により、平成 28 年度 夏期セミナーの準備状況が報告された。講演内容案については、企画小委員会でも議論を進めていくことが確認された。
7. 核燃料部会報について  
竹野氏（高松委員代理）から、資料 7 により、核燃料部会報（No. 51-1, No. 51-2）の進捗状況が報告された。部会報（No. 51-2）は、発行時期が平成 28 年 5～6 月頃の予定であり、2016 春の年会の見通しなども踏まえ、次回運営小委でも調整を進めていくことが確認された。
8. ポジションステートメントについて  
尾形委員から、資料 8 により、作成中のポジションステートメント案「燃料デブリについて」が紹介された。今後の進め方としては、まず運営小委員会の意見を反映した上で、次回（11/19）の企画小委員会で議論を行い、必要に応じて関係者などによる確認を受けて、取りまとめていくことが確認された。
9. ANFC 残金の取り扱いについて  
永瀬委員から、資料 9 により、核燃料部会と学会に繰り入れ予定の ANFC2014 残金が報告された。核燃料部会に繰り入れる分については、基本的には次回の国内開催 ANFC の運営資金として引き継ぐこと、上記以外の用途については、つど運営小委員会で審議することが提案され、了承された。
10. 核燃料部会規約・内規の改定（表記などの見直し）について  
巻上庶務幹事から、資料 10 により、学会事務局の方針を受けた規約・内規の改正案（表記などの見直し案）の確認結果が報告された。規約でホームページ運営に言及することが委員から提案され、他部会の状況などを確認の上で了承された。次回の運営小委員会でも誤記を含めた確認を継続し、2016 春の年会時の全体会議に備えることが確認された。

1 1. 福島第一廃炉検討委員会の調査依頼への対応について

巻上庶務幹事から、資料 11 により、福島第一原子力発電所の廃炉等に関連する活動状況の調査依頼について、燃料デブリ研究専門委員会の設置に向けた活動などを回答していることが報告された。

1 2. 学会事故調の提言のフォローについて

巻上庶務幹事から、資料 12 により、学会事故調の提言への取り組み状況として、軽水炉燃料等の安全高度化ロードマップ検討 WG を設立し、ローリング検討を開始していることを回答予定である旨が説明され、了承された。

1 3. その他

(1) 軽水炉燃料等の安全高度化ロードマップ検討 WG の活動状況について

巻上庶務幹事から、資料 13 により、9/25 に開催した第 2 回会合での議論の状況などが報告された。

(2) 2016 春の年会企画セッション提案への学会事務局の依頼について

巻上庶務幹事から、資料 14 により、企画セッション数の増加傾向を踏まえ、類似企画の統合や延期などの調整を、学会事務局から依頼される可能性があることなどが報告された。(議事 4. の中で報告)

(3) 次回予定

次回(平成 27 年度第四回)運営小委員会は、平成 28 年 2 月 29 日(月)の午後、日本原子力学会事務局会議室で開催する予定とした。

以上